

社会実験の概要

期間：平成26年1月16日～平成26年2月14日（現在も運用継続中）

内容：

- (1) 無信号交差点をラウンドアバウト（環状交差点）に改良し、以下について検証。
 - ・交差点流入・通過速度、走行軌跡の調査（ビデオ観測）
 - ・分離島、歩道及び横断歩道の必要性の検証
 - ・周知方法の効果測定



実験結果

○交差点進入・通過速度の低下

- ・交差点通過速度は30km/h程度低下、横断歩道部分の速度は20km/h程度

○遅れ時間の削減

- ・主道路の旅行時間は、実験前より長くなっているが、従道路の旅行時間は、全体的に短縮した

○分離島・横断歩道・歩道の必要性

- ・流入部に分離島があることで、環道内の走行位置が左側に寄り、エプロンを踏んで直線的に走行する挙動がみられた

○周知方法の効果測定

- ・通行車両に対しての通行ルールの説明や地元説明会により、逆走が減少
- ・横断歩行者は、二段階で安全確認しており、安全性が向上

本格実施に向けた課題

- ・道路交通法の一部改正が平成26年内に施行されるため、本格運用に向け、引続き通行ルールの周知を行う。
- ・定点カメラを設置し、通行状況の確認を引続き行い、課題があった場合は、関係機関の協力を得ながら、速やかに改善を行う。